

◆NEWS RELEASE◆

第26回中部の未来創造大賞に

『地域情報誌制作を通じた

「ひとづくり」からはじまる「まちづくり」

～COLOMAGA 伊豆市版【KURURA】制作活動～』(静岡県)

が決定しました！

～優秀賞、特別賞も併せて決定しました～

「中部の未来創造大賞」は、新しい時代にふさわしい中部の発展とその啓発の促進を目的に、中部5県の住民、NPO、企業、学校、行政等が取り組む優れた地域づくりのための活動を表彰する制度で、今回は41件の応募をいただきました。

この度、「第26回中部の未来創造大賞」の受賞者が、以下のとおり決定しましたので、お知らせします。

1. 受賞者

大賞1件『地域情報誌制作を通じた「ひとづくり」からはじまる「まちづくり」
～COLOMAGA 伊豆市版【KURURA】制作活動～』

団体名：KURURA 制作実行委員会（静岡県）

優秀賞3件

特別賞2件（中部経済連合会賞1件、中日新聞社賞1件）

2. 表彰式

日時：令和8年2月26日（木）15時30分から

場所：アイリス愛知 2階 コスモス

（名古屋市中区丸の内2-5-10 TEL 052-223-3751）

3. 資料：別紙(受賞者一覧他)

4. 同時配布：愛知県政記者クラブ、 長野県庁会見場、岐阜県政記者クラブ、 静岡県政記者クラブ、三重県庁内記者クラブ

5. 問合せ先：中部の未来創造大賞推進協議会事務局 一般社団法人 中部地域づくり協会 業務管理部 部長 近藤 正幸、副参事 小野田勝巖 TEL 052-962-9455

【中部の未来創造大賞推進協議会】

国土交通省中部地方整備局、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、静岡市、浜松市、名古屋市、中日本高速道路株式会社名古屋支社、名古屋高速道路公社、独立行政法人水資源機構中部支社、日本下水道事業団東海総合事務所、独立行政法人都市再生機構中部支社、一般社団法人中部地域づくり協会、

【後援】一般社団法人中部経済連合会、公益社団法人土木学会中部支部

一般社団法人日本建設業連合会中部支部、一般社団法人建設コンサルタンツ協会中部支部、一般社団法人長野県建設業協会、一般社団法人岐阜県建設業協会、一般社団法人静岡県建設業協会、一般社団法人愛知県建設業協会、一般社団法人三重県建設業協会、株式会社中日新聞社

第26回 中部の未来創造大賞受賞者一覧

大賞（1件）

| 活動名 | 団体名 | 県名 |
|--|----------------|-----|
| 地域情報誌制作を通じた「ひとづくり」からはじまる「まちづくり」 ～COLOMAGA 伊豆市版【KURURA】制作活動～ | KURURA 制作実行委員会 | 静岡県 |

優秀賞（3件）

| 活動名 | 団体名 | 県名 |
|--------------------------------|----------------|-----|
| 海洋環境保全 × 地域共助モデル事業 | NPO 法人 MORE 企画 | 静岡県 |
| 「何にもしない合宿」を通じた日常の関係づくりと地域循環の創造 | 裾野市東地区おやじの会 | 静岡県 |
| 大八防災プロジェクト special | 大八まちづくり協議会 | 岐阜県 |

特別賞：中部経済連合会賞（1件）

| 活動名 | 団体名 | 県名 |
|--------------------|----------------|-----|
| 海洋環境保全 × 地域共助モデル事業 | NPO 法人 MORE 企画 | 静岡県 |

特別賞：中日新聞社賞（1件）

| 活動名 | 団体名 | 県名 |
|-------------------------|-------------|-----|
| 小さな拠点「しきしまの家」から始まる山村の未来 | しきしまの家運営協議会 | 愛知県 |

● 優秀賞 及び 特別賞（中部経済連合会賞）

活動名：海洋環境保全 × 地域共助モデル事業

活動団体：NPO 法人 MORE 企画（静岡県）

活動内容：伊豆半島の海や山の自然環境を次の世代へ引き継ぐために、清掃活動や環境教育を中心とした地域づくりを行っている。ただ環境を守るのではなく、「人の意識や関係性まで変えていく」ことを目的としている。

活動には、漁業者、企業、行政、学校、観光業、マリンスポーツ関係者など、立場や業種をこえた多くの方々が関わり、自然との関わりを“自分ごと”として捉えるきっかけになるよう、参加型・体験型のプログラムを重ね、共助・共感・共創を軸にした取り組みを行っている。



下田市との協業で行った水中清掃



山の様々な場所で不法投棄、いずれ川に流れ込み海へ入ってしまう

● 優秀賞

活動名：「何にもしない合宿」を通じた日常の関係づくりと地域循環の創造

活動団体：裾野市東地区おやじの会（静岡県）

活動内容：学校でも家庭でもない「第3の居場所」として、子どもたちがありのままの自分でいられる空間を提供し、そこに居合わせた大人たちとの自然な出会いや対話を通じて、日常的なつながりを育んでいく活動。

「何にもしない合宿」をはじめとする活動を通じて、子どもたちの主体性を引き出すとともに、地域の大人も子どもたちとの関わりの中で自分の役割に気づいていくことにつながっている。



2012年から積み重ねた「何にもしない合宿」は100回を超えた



参加者それぞれが過ごしたいように過ごして良い空間

● 優秀賞

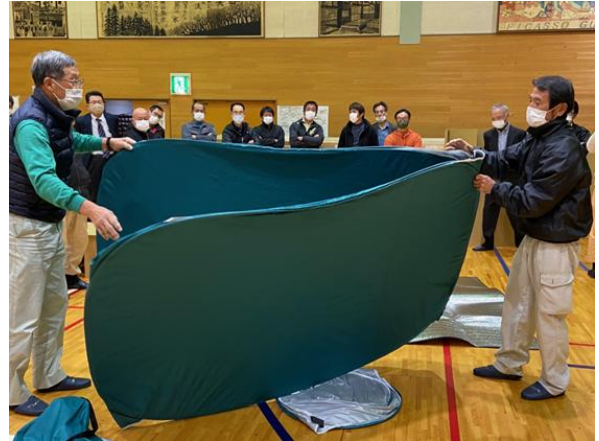
活動名：大八防災プロジェクト special

活動団体：大八まちづくり協議会（岐阜県）

活動内容：幅広い世代への防災への取り組みが必要と考え、住民アンケートなど実態調査に基づき、地域学校協働活動での防災活動や、世代に応じた防災啓蒙、防災を考えるワークショップなど、住民自らが考え、行動でき、住民が「わたくしごと」として防災を考えるきっかけづくりから、地区全体の防災力のアップにつながる活動を行っている。



防災まち歩き



避難所設営体験

● 特別賞（中日新聞社賞）

活動名：小さな拠点「しきしまの家」から始まる山村の未来

活動団体：しきしまの家運営協議会（愛知県）

活動内容：2023年4月に「しきしまの家」を整備、縮小社会を受け止め、住民の支え合いと関係人口を自治の主体に加える取組みは、草刈りや高齢者の移動支援など、3年で500件の支え合いを生み、生産者と消費者がつながる米のCSA（地域支援型農業）「自給家族」は、契約者が350家族に達し、30tの米の供給、10haの農用地保全につながっている。



2023年4月、支え合いの拠点として「しきしまの家」が住民200名を集めてオープンした



米のCSA「自給家族」は、23戸の農家と350世帯の消費者がつながり10haの農地を守る